



2020年2月5日

各 位

会社名 株式会社ダイセル
 代表者名 代表取締役社長 小河 義美
 (コード番号 4202 東証 市場第一部)
 問合せ先 事業支援本部
 IR広報グループリーダー
 廣川 正彦
 TEL (03)6711-8121

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第3四半期連結会計期間において、特別損失を計上いたしました。また、2019年11月1日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社では、収益力の回復と強化、将来に向けた成長基盤の再確立に向けて、必要な施策を迅速に推進しています。自動車エアバッグ用インフレーターなどの自動車安全部品事業の生産地再編も進めており、当第3四半期において、日本、米国の一部製品を、より競争力の高いタイ、中国に移管することを決定いたしました。今回の生産地再編は、グローバルでの自動車安全部品事業の収益回復につながるものですが、日本及び米国の同事業においては、生産縮小に伴い投資額の回収が困難な状況となるため固定資産の評価を見直し、減損損失を計上することとなりました。

また、防衛関連製品などの特機事業においても、事業収益の低下に伴い投資額の回収が困難な状況となるため固定資産の評価を見直し、減損損失を計上いたしました。なお同事業については、事業の撤退を前提に関係各所との協議を進めております。

当第3四半期において、減損損失として、136億79百万円を特別損失に計上しております。

2. 2020年3月期通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 431,000	百万円 36,000	百万円 38,000	百万円 21,500	円 銭 66.65
今回修正予想 (B)	420,000	31,000	32,500	7,000	22.04
増減額 (B - A)	△11,000	△5,000	△5,500	△14,500	
増減率 (%)	△2.6	△13.9	△14.5	△67.4	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	464,859	51,171	53,433	35,301	105.38

3. 修正の理由

中国経済の影響などにより、有機合成事業、合成樹脂事業の需要が想定より低調に推移したことや、上記の特別損失計上などにより、第3四半期までの業績は想定を下回る結果となりました。第4四半期の需要も同様の状況が続く見通しであることや、第3四半期で計上した特別損失（減損損失）について追加計上が見込まれることを踏まえ、通期連結業績予想を上記の通り下方修正いたしました。

なお、新型コロナウイルスによる影響は織り込んでおりません。

※上記業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上